

東京都立大学附属高等学校同窓会
2023年度下期「理事・監事・評議員会議」議事録

日時 2024年1月27日(土)13時30分～

会場 都立大学・レストラン「Blossom Hill」(ブロッサムヒル)

議案1 2023(令和5)年度事業報告(2023年4月1日～2023年12月31日)

○以下の報告については、特に質問などなく拍手で了承した。

① 会報の発行(2023年6月30日発行)

A4版 16ページ オールカラー 印刷部数9,000部
発送部数 国内会員 7,789部 特別会員(恩師) 149部
海外在住会員 73部
桜修館教職員・PTA・生徒に配布 合計300部

② 第75回記念祭(9月9日、10日)

コロナ前と同様に、B棟201講義室に同窓会ルーム「八雲が丘の集い」を出展。旧制府立高以来の資料、写真の展示、94年間の3校の歴史年表の掲出を行った。また、校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌のDVD 終日放映を行ったほか、10日に、昨年は出来なかった合唱イベントをAB棟間コンコースで行った。

③ 第11回「八雲が丘賞」(表彰式9月11日)

受賞は「陸上競技部」。特に前期課程生徒の活躍はめざましく、久方ぶりに運動部の受賞となった。表彰式は記念祭の閉祭式の会場で全校生徒の前で行われた。

④ 第7回「八雲が丘ホームカミングデー」(11月11日)

○ホームカミングデー当日、旧制府立高創立100周年に向けての寄付を募り、約8万円ほどが集まった。

○参加者は、23期26名、48期25名、桜修館2期17名。

第23期、48期、桜修館2期を対象として桜修館「多目的ホール」を会場に開催された。前年第6回の実績から、桜修館2期の参加が危ぶまれたが、計画段階からの幹事団の努力により多数の参加をみた。対象期の参加者合計約70名。

歓迎式典終了後、2班に分かれて校内を見学。今回も式典後の懇親会はなし。

⑤ 八雲が丘学友会

7月1日、 11月18日

10月7日が学校の都合で流会となり、2回の開催となった。

⑥ 会議など

4月25日 同窓会報関係者顔合わせ
5月13日 会計監査
7月1日 2023年上期「理事・監事・評議員会議」
10月9日 桜修館同窓会とオンライン会議
11月19日 桜修館同窓会との顔合わせ

議案2 会計中間報告

(別紙参照)

- 同窓会報を配布するための通信費、同窓会運営、旧制府立高等学校創立100周年(2029年)記念事業等を考慮すると、会員総数 14,350 名に対して1割ぐらゐの支払いに留まる。ただし、最近のホームカミングデーなどで積極的にご案内をしているので多少の改善は見られる。
- 会費の増収を図るうえで、収納方法を拡大したい。PayPay などを使えるようにすることを考える。銀行引き落としは法人化しないと無理か。コンビニ手数料が高いので、より安価な収納方法があればよい。

議案3 今後の活動計画 (2024年1月以降)

① 同窓会報の発行

- 発送部数が減少していることから、部数減も考慮するが、部数が減っても費用はあまり変わらない。ページ数が増えると印刷費は高くなる。

2024年6月30日発行予定。A4版12ページまたは16ページ

印刷予定 9,000部 会員・特別会員へ約8,300部

桜修館関係300部、桜修館同窓会50部

例年通り原稿締切り4月30日、5月編集作業、6月組版・校正・印刷・製本・発送

② 名簿の管理(2024年1月21日現在)

- ホームカミングデーが呼び水となって、住所判明者が増えている。

- 会報受取拒否者が増えている。

- 理事、評議員のいない50期代の個人情報入手が困難になっている。

→50期代は当時の担任先生からクラスのメンバーに対して働きかけるようにしている。

会員総数14,350名 住所判明者7,831名 (海外在住74名、会報受取拒否88名、特別会員との重複2名含む)

死亡887名、住所不明5,632名

特別会員(恩師)296名 住所判明145名、死亡76名、住所不明75名

③ 第76回記念祭への参加、出展計画

例年通り同窓会ルーム「八雲が丘の集い」出展。府立高以来の資料、写真の展示、3校の歴史年表掲出。校歌・学生歌・寮歌・記念祭歌のDVD 終日放映に加えて、同合唱イベントを実施。都大附高時代の資料の充実を図る。

桜修館生徒に対して、旧制時代のお話をする機会が欲しい。

④ 第12回「八雲が丘賞」

3月末に桜修館に候補団体または個人の推薦を依頼。6月29日(土)または30日(日)開催予定の理事・監事・評議員会議、或いは持ち回り理事会で受賞者を決定する。

⑤ 第8回「八雲が丘ホームカミングデー」の開催

- 前回から田中理事を中心にホームカミングデー事務局を結成した。

- 校内見学後の懇親会を、自由ヶ丘、渋谷周辺で開催したい。

第24期、49期、桜修館3期が対象。10月と11月のパーシモンホール小ホールの抽

選には参加するが、当選確率は低く、その場合は桜修館「多目的ホール」で式典開催、校外での懇親会開催を実現する。

⑥ 同窓会定期総会

3年に一度の定期総会が、一昨年1年遅れで開催されたため、2年後の今年(来期)に開催する。開催時期は10月を予定、会場の候補は桜修館「多目的ホール」。

⑦ 今後の会議などの予定

以下の予定の他に、「八雲が丘学友会」を年3～4回開催予定。

3月中旬 拡大会報編集委員会

5月上旬 会計監査

6月29日または30日 2024年度上期「理事・監事・評議員会議」

○6月29日(土)に決定

9月上旬 第76回記念祭、第12回「八雲が丘賞」表彰式

10月中旬 定期総会

10月または11月 第8回「八雲が丘ホームカミングデー」

議案4 その他

①八雲が丘文庫の再建

○ステッカーの制作費は、八雲が丘学友会の会計から支出。

○八雲が丘学友会の会計からは、これまでも桜修館開校10周年記念に外壁に校章レリーフを寄贈、旧制の学生歌、記念祭歌、寮歌の伴奏譜デジタル化に支出。寄贈本添付用のステッカーは作成済。懸案の桜修館との協議を早急に行う。

②合唱サークル

昨年の同窓会報で参加者を募ったが、現在参加希望は5名にとどまっている。音智のOBOG中心に参加者の募集を強化、桜修館校内に練習会場を確保する必要がある。

③旧制府立高等学校創立100周年(2029年)記念事業

○何を具体化するか考える

○記念誌の発行にはパワーがいる。図書館のバックヤードにかなり過去に資料があるので活用できないか。旧制府立同総会が作った70年史などを活用。

○都立大学との関係は？ 旧制府立の高等科は都立大学に引き継がれている。都立高校は尋常科の後継。

記念事業実行委員会(準備委員会)の立ち上げ。記念事業の内容(百年史の編纂、記念イベントの開催、など)の検討。

○桜修館との関係をどうするか。

将来的には桜修館同窓会との一本化も考えられるが、現状では桜修館1期生はまだ30歳前後で同窓会に対する意識は低い。また都大附高が61期までであるのでそれを背負うのは重たいという意識もあるのではないかと。焦らずじっくりやりたい。

○桜修館卒業生が中心になるのはまだ先、都大附高同窓会が頑張る必要がある。

○桜修館開校20周年、旧制府立高創立100周年を期に、桜修館同窓会との関係を深めたい。男子バスケット部、サッカー部などで今後の協力が可能となっている。

男子バスケットボール部では 45 期、46 期、47 期での交流会も始まった。

音楽智識部など他の部活にもお声がけを拡大してはどうか？

その一環として、同窓会公式サイト内でも「運動部」「文化部」の項目で、過去の同窓会報誌に投稿された内容をまとめた。

④メモリアルルームの都大附高コーナーの整備、旧父母会の残資料の処理

⑤同窓会役員改選 理事長交代、常務理事の増員

○6月末の理事・監事・評議員会議で理事長を選任し、10月の定期総会で執行部を正式に発足させる。

○会報の編集作業は手塚理事(45期)に引き継ぐ予定。

以上